

## 第9回 修士論文発表会

**概要：**①M-GTA（修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ）を活用して修士論文を書き上げた学位取得者の**成果発表**——領域的知見と方法論的な苦労や工夫について発表してもらい、後学の参考とする。②現在M-GTAを活用して修士論文にとりかかっている修士課程生の**中間発表**——スーパーバイザーやフロアとのやり取りを通じ、研究の洗練を促す。

**日時：**2016年7月23日（土） 13：00～18：00

**会場：**大正大学7号館5階755教室

**参加スーパーバイザー：**阿部正子（長野県看護大学）、小倉啓子（ヤマザキ学園大学）、木下康仁（立教大学）、倉田貞美（浜松医科大学）唐田順子（国立看護大学校）、坂本智代枝（大正大学）、田村朋子（清泉女子大学）、丹野ひろみ（桜美林大学）都丸けい子（聖徳大学）、根本愛子（国際基督教大学）、林葉子（（株）JH産業医科学研究所代表取締役/自治医科大学看護学部非常勤講師：M-GTA研究会会長）、松戸宏予（佛教大学）、山崎浩司（信州大学）

### プログラム：

13：00～13：10 開会の挨拶・趣旨説明 林葉子・坂本智代枝

13：10～14：30 中間発表 [SV:丹野ひろみ]  
片山 玲子（放送大学大学院 文化科学研究科 臨床心理学プログラム専攻）  
「子どもの不登校を経験した母親の不登校理解が深化するプロセス」

14：40～16：00 成果発表 [SV:林葉子]  
大塚 栄子（筑波大学大学院 人間総合科学研究科 生涯発達専攻 博士前期課程 リハビリテーションコース修了）  
「小児期受障の高次脳機能障害者の社会参加に関する研究—修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチによる親の想いと行動の想いのプロセスの検討」

16：10～17：30 中間発表 [SV:唐田順子]  
松元 悦子（山口県立大学大学院 健康福祉学研究科 健康福祉学専攻 公衆衛生看護学分野）  
「難病患者における医療従事者に対する心理過程の解明」

17：35～17：55 総括コメント 木下康仁

17：55～18：00 閉会の挨拶 都丸けい子

**申込：**会員は研究会HPかMLから7月22日[金]21時までにお申し込みください。非会員は7月15日[金]以降に研究会HPで公開される参加申込URLから、お申し込みください。定員になり次第〆切ります。なお、非会員は当日資料代1,000円を申し受けます。

**問合せ：**[modifiedgta@gmail.com](mailto:modifiedgta@gmail.com)

**担当：**第9回修士論文発表会ワーキンググループ（坂本・阿部・都丸・宮崎）